

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	フィールド・スタディ I A (Field Study IA)		
ナンバリングコード	E11411	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 基礎レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 前期
必修・選択区分	選択: 経営経済学部 コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E047901	クラス名	地域マネジメント
担当教員名	今西 衛、本村 裕之、山城 興介		
履修上の注意、履修条件	本授業では夏季休暇を利用して実際に現地に赴く機会が複数あります。部活動やアルバイト等と重ならないよう事前に調整をおこなしましょう。プロジェクト型科目なので、3年間継続して履修することが望ましい。 地域マネジメントコース希望者は受講しておくことが望ましい。また、プロジェクト型科目であるので、3年間通じての履修が望ましい。その他を参照すること		
教科書	必要に応じて資料を配付します。		
参考文献及び指定図書	橋本 行史 編著「地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論-」、創生社、2015		
関連科目	フィールド・スタディIB、フィールド・スタディII、フィールド・スタディIII		

○基本情報			
授業の目的	大分県は「おんせん県」といわれるほど、温泉が各地にあり観光資源としても活用されています。しかしながら、今回のフィールドとなる豊後大野市は温泉がない市です。そのような市でも自然やジオパーク、伝統・文化、地産のものを活かした食など、観光資源化されていない多くの魅力あふれたものがあります。本授業では、実際に現地に赴き、ホンモノの体験や現地プロガイドのコーディネートを通じて、当該地域の現状や抱えている課題、地域の隠れた魅力を理解、発見するとともに、持続可能なまちづくり(SDGs)その理解に基づいて若者の感覚を活かした説得力のある意見表明を行える能力を養うことを目的とします。		
授業の概要	現地の名所を訪問するとともに、学生自身にとっても当事者として真剣に考えることができる体験型学修を実施します。最終日には「観光をベースとしたコミュニティビジネスの可能性」をテーマに班ごとに報告を行い、ディベート形式の討論を通して成績評価を行います。 事前学習、予習、復習、レポートの採点結果をフィードバックして、さらによりよい提案に結びつけます。 参加費用として実費(1万円程度)が必要です。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	地域の問題を自身の問題と考えて積極的に取り組むことができる。		10点	20点
【知識・理解】	地域について事前に情報収集を行うことができる。現地で得た情報にもとづいて、複数の人に確認するなどして、情報を正確に把握できる。		5点	15点
【技能・表現・コミュニケーション】	現地住民や関係者と積極的にコミュニケーションを図り、より多くの情報を集めることができる。プレゼン報告に際しては、わかりやすく且つ説得的になるよう工夫を凝らすことができる。		5点	15点
【思考・判断・創造】	地域の魅力を発見し、自分の考えとして地域の可能性を表明することができる。他者の報告を注意深く聞き、疑問点を見出すことができる。他者からの指摘に対して適切な受け答えを行うことができる。		10点	20点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
Sレベル: 議論を超えて、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Aレベル: 内容を踏襲し、課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Bレベル: 課題の解決手段はあるが、それを根拠づける説明が少ない。 Cレベル: 課題解決の提案がない レポート、作品は、毎回発表を行い、学生、教員が相互に評価することで、学習成果を確認し、課題のフィードバックを行う。	

○その他	
履修上の注意(その他) 地域の現状や課題に対し、理解を深めること。 報告及びディスカッションを行うので、積極的に自分の意見を表明すること。	
履修制限についてはガイダンスの説明を聞くこと。 感染状況等を踏まえ、授業内容の変更、あるいは、不開講となる場合があります。詳しくはガイダンスの説明を聞くこと。	

2021年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	フィールド・スタディ I A (Field Study IA)	授業コード	E047901
	担当教員	今西 衛、本村 裕之、山城 興介		
学修内容				
1. オリエンテーション 目的、概要、日程等の説明				
予習	事前に豊後大野市の現状において調べておいて下さい			約15時間
復習	次回までに、オリエンテーションを踏まえ、豊後大野市の課題をどのように解決すべきかまとめて下さい			約15時間
2. 事前学習 合宿で学修するための目標設定を行ってまいります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
3. 事前学習 提出された目標設定に基づいて、教員から個別にコメントを行います。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
4. 事前学習 教員からのコメントに基づき、必要な情報を自身で収集する。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
5. 現場説明 現地を巡って事情を知るとともに、新たな魅力を発見してまいります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
6. 現場見学 引き続き現地の見学を行ってまいります。 また、ロッジでの食事等、自然の豊かさを実感してまいります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
7. 振り返り 見学した地域についての振り返り学習 何が魅力だったか、何が不便だったかなどを話し合っ整理します。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
8. 現場見学 引き続き現地の見学を行い、地元住民から現地事情について説明を受けます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			

○授業計画	科目名	フィールド・スタディ I A (Field Study IA)	授業コード	E047901
	担当教員	今西 衛、本村 裕之、山城 興介		
学修内容				
9. プレゼン準備 グループに分かれ、自分たちの発見した魅力について報告の準備をしてまいります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
10. プレゼン練習 報告用のポスターを作成し、翌日の報告練習を行ってまいります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
11. プレゼン報告調整 報告前の最終確認として、資料の補足や報告練習を行ってまいります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
12. プレゼン報告 現地住民を交えて、豊後大野の新たな魅力(あるいは改善が必要と感じられた点)について報告を行ってまいります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
13. ディスカッション 他班の報告に対して、質疑を行ってまいります。自分たちの主張を説得的にアピールすることが成績評価につながります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
14. 振り返り 本合宿の総括として、振り返りシートを作成してまいります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
15. 振り返り 報告、質疑応答、振り返りシートなどから成績評価を行います。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	振り返りシートを完成させなさい。			約30時間
16.				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			